

# 事業説明会

エネルギーインフラ事業

2024年6月5日  
古河電気工業株式会社  
エネルギーインフラ統括部門  
統括部門長 西村 英一

本資料は、株主、投資家、ならびに報道関係者の皆様に当社の活動内容に関する情報を提供することを目的として作成しています。

### 将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

### 著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

## ■ 25中計の進捗状況

23年度は電力事業が大型案件の延期もあり前年比では減益も、産業電線・機器事業の好調も加わり、全体としては順調な進捗

## ■ 24年度方針

### 【電力事業】

23年度減益からのリカバリーで売上・利益拡大

### 【産業電線・機器事業】

23年度の好調を維持、事業成長を継続

## ■ ビジョン2030達成に向けて

### 【電力事業】

国内再エネの洋上風力事業拡大および広域連系海底線事業の検討

### 【産業電線・機器事業】

電力・鉄道分野や次世代インフラ等の社会課題解決に貢献する高付加価値製品を提供

## 【 1.エネルギーインフラ全体 】

- 1-1. 25中計進捗状況 目標達成に向けた取り組み  
25中計進捗状況 数値
- 1-2. 23年度実績振り返り
- 1-3. 24年度方針・戦略 / 事業成長施策

## 【 2.電力事業 】

- 2-1. 市場概況
- 2-2. 六大施策① 利益重視の受注確保  
六大施策② ケーブル製造能力の増強  
六大施策③ 地中線工事施工能力の増強  
六大施策④ 技術開発の推進  
六大施策⑤ 再生可能エネルギー・直流事業の推進  
六大施策⑥ DXの推進
- 2-3. ビジョン2030達成に向けて  
トピックス(洋上風力発電向け海底ケーブル)

## 【 3.産業電線・機器事業 】

- 3-1. ビジョン2030達成に向けた取組み
- 3-2-1. 国内再エネの市場概況・戦略製品  
戦略製品：らくらくアルミケーブル
- 3-2-2. 次世代インフラの市場概要・戦略製品  
戦略製品：プラグインコネクタ
- 3-2-3. 防災減災・社会インフラの市場概況・戦略製品
- 3-3. 次世代高機能製品へのシフト  
トピックス（「発明賞」受賞）  
トピックス（再生エネルギー導入）

Appendix

# 1-1. 25中計進捗状況 目標達成に向けた取り組み

## 電力事業

### ターゲットセグメント

- ✓ 国内超高圧地中線
- ✓ 国内再エネ（海底線＋地中線）
- ✓ 海外海底線（アジア）

### 六大施策

- ✓ 利益重視の受注確保
- ✓ ケーブル製造能力の増強
- ✓ 工事施工能力の増強
- ✓ 技術開発の推進
- ✓ 再生可能エネルギー・直流事業の推進
- ✓ DXの推進

### ターゲットセグメント

- ✓ 国内再エネ
- ✓ 次世代インフラ
- ✓ 防災・減災
- ✓ 社会インフラ

### 三大施策

- ✓ 電力会社・鉄道会社向け製品拡販
- ✓ 高付加価値・戦略製品のターゲットセグメントへの投入
- ✓ 次世代高機能製品へのシフト

## 産業電線 ・機器事業

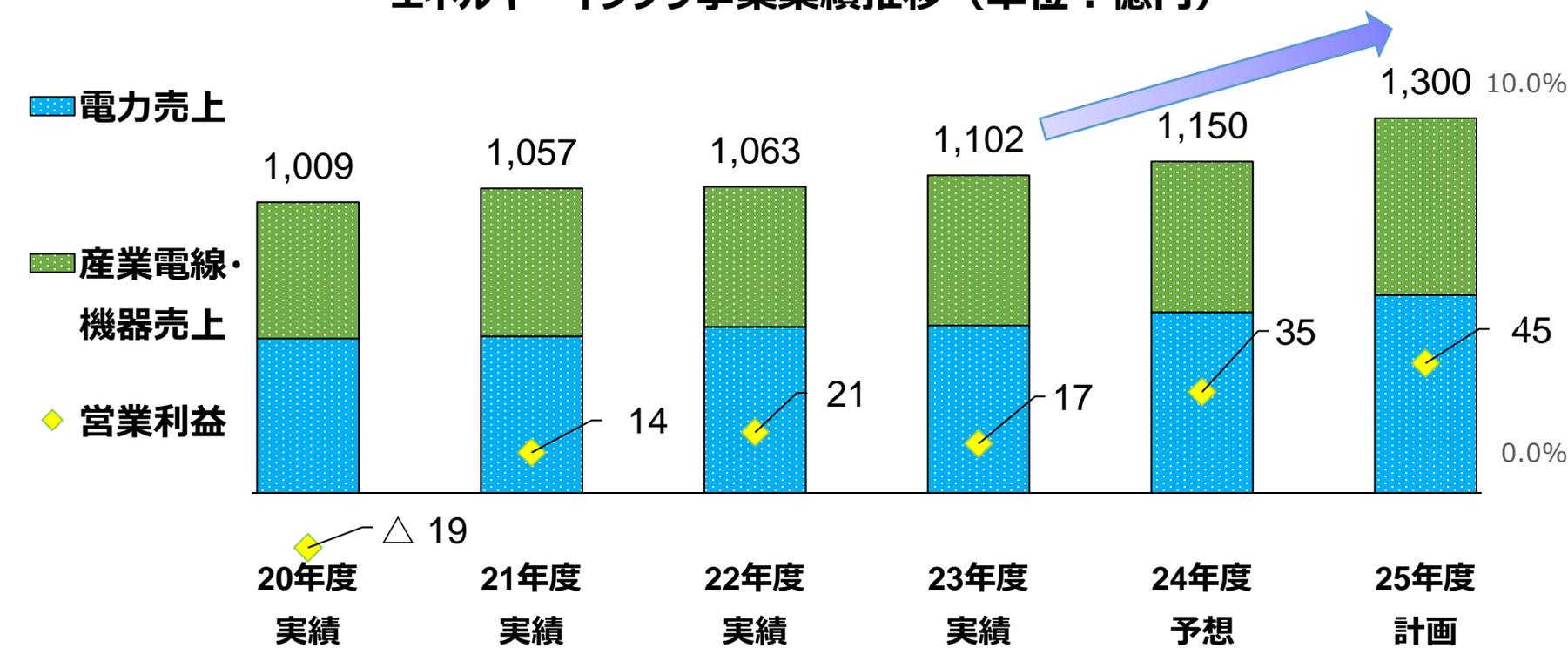
エネルギーインフラを当社の柱事業へ  
**ターゲットセグメントに注力し各施策を継続して実行**

# 1-1. 25中計進捗状況

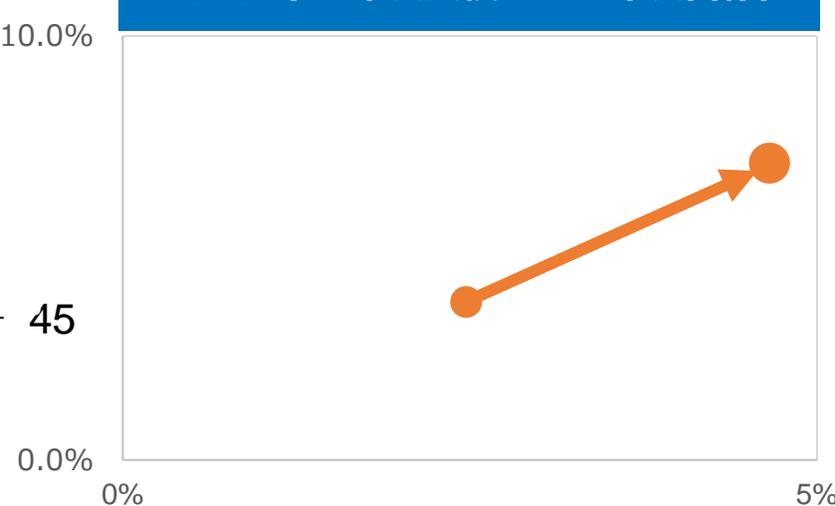
25年度計画：売上高1,300億円 営業利益45億円（昨年から変更なし）

（進捗）23年度は電力事業が大型案件の延期もあり前年比では減益も、産業電線・機器事業の好調も加わり、全体としては順調な進捗

エネルギーインフラ事業業績推移（単位：億円）



ROIC（23年度実績 → 25年度目標）



縦軸：売上高CAGR（22～23年度→22～25年度）  
 横軸：ROIC（23年度→25年度）  
 バブル：NOPAT（23年度→25年度）

各種施策の完遂で25中計は計画通り進める

## 1-2. 23年度実績振り返り

単位：億円	22年度実績	23年度実績	前年比
売上高	1,063	1,102	+40
営業利益	21	17	▲4

**産業電線・機器事業好調も  
電力事業は大型案件延期影響で  
前年比減益**

### 【電力事業】

- (+) 石狩湾新港洋上風力および入善洋上風力案件の完工
- (+) 国内超高圧地中線大型案件受注
- (-) 大型プロジェクト案件の24年度以降への延期
- (-) 中国国内の需要回復遅れによる顧客工事遅延で中国子会社の損益悪化

### 【産業電線・機器事業】

- (+) 建販向け汎用線の需給ひっ迫に伴う機能線の代替特需
- (+) 銅価高騰及び盗難多発に伴うらくらくアルミケーブル需要増
- (+) 電力・建販向け需要増によりケーブル接続材好調
- (+) データセンター建設増によりプラグインコネクタ急伸

# 1-3. 24年度方針・戦略 / 事業成長施策

単位：億円	23年度実績	24年度予想	前年比
売上高	1,102	1,150	+48
営業利益	17	35	+18

## 方針・戦略

### 【電力事業】

方針：23年度減益からのリカバリーで売上・利益拡大

戦略：・プロジェクト管理強化とターゲットセグメントへの注力継続

・売上拡大に対応した計画通りの製造・工事推進

### 【産業電線・機器事業】

方針：23年度に引き続き事業成長を継続

戦略：ターゲットセグメントの戦略製品を拡販

## ～投資刈り取りフェーズへ～ 売上拡大で計画通り利益を出していく

## 事業成長施策

### 25中計施策を継続実行

(電力事業=六大施策 / 産業電線・機器事業=三大施策)

#### 【電力事業】

- ✓ 受注済み大型プロジェクトの確実な履行のためのプロジェクトマネジメント強化継続
- ✓ 事業拡大へ向けた能力増強施策の継続
- ✓ 中国子会社の収益力強化

#### 【産業電線・機器事業】

- ✓ 電力会社 / 鉄道会社向け高付加価値製品の拡販
- ✓ らくらくアルミ・プラグインコネクタ等の高付加価値製品の拡販

# 電力事業

電力事業部門長 八木 幸弘

# 2-1. 市場概況

## 25中計想定どおりの事業環境で推移

### 国内超高圧地中線

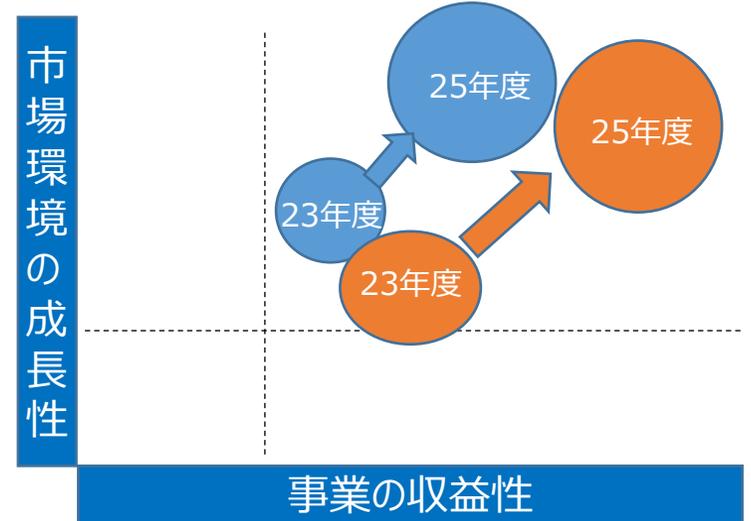
電力ケーブル更新需要(OFリプレイス)による市場拡大が継続

### 国内再エネ海底線

洋上風力大型港湾案件が本格始動  
当社においてもエンジニアリング協力を実施し製造・布設工事に着手

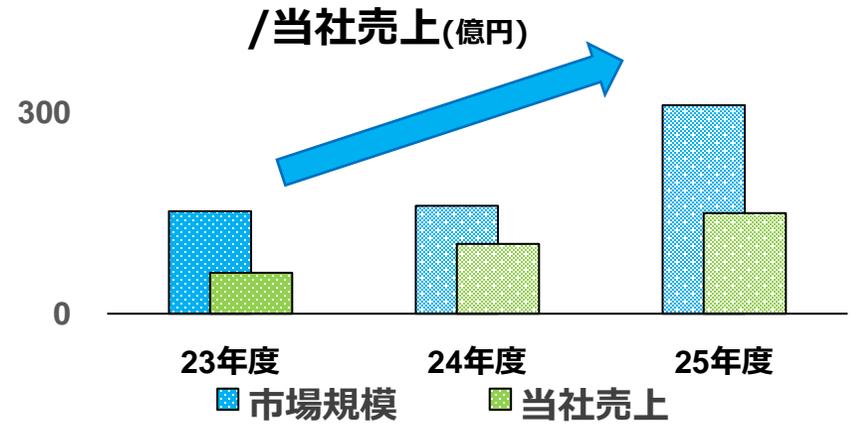
### 国内再エネ地中線

陸上風力・太陽光発電案件を中心に拡大基調続く  
陸上風力大型案件の計画が具体化し当社への協力要請が活発化



- 再エネ (海底線・地中線)
- 国内超高圧地中線

### 国内再エネ(海底線+地中線)市場規模



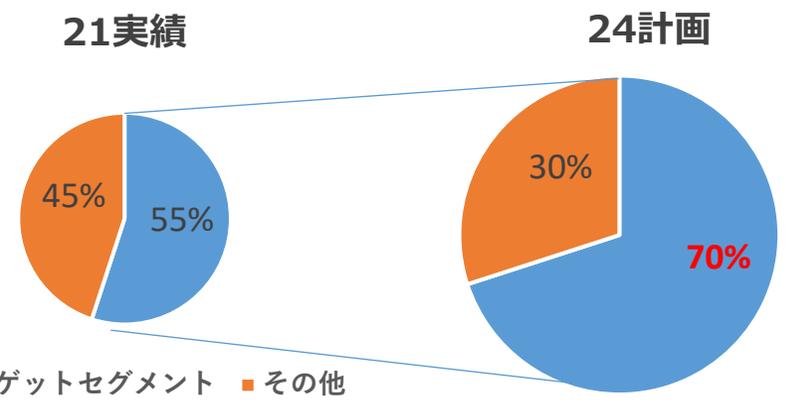
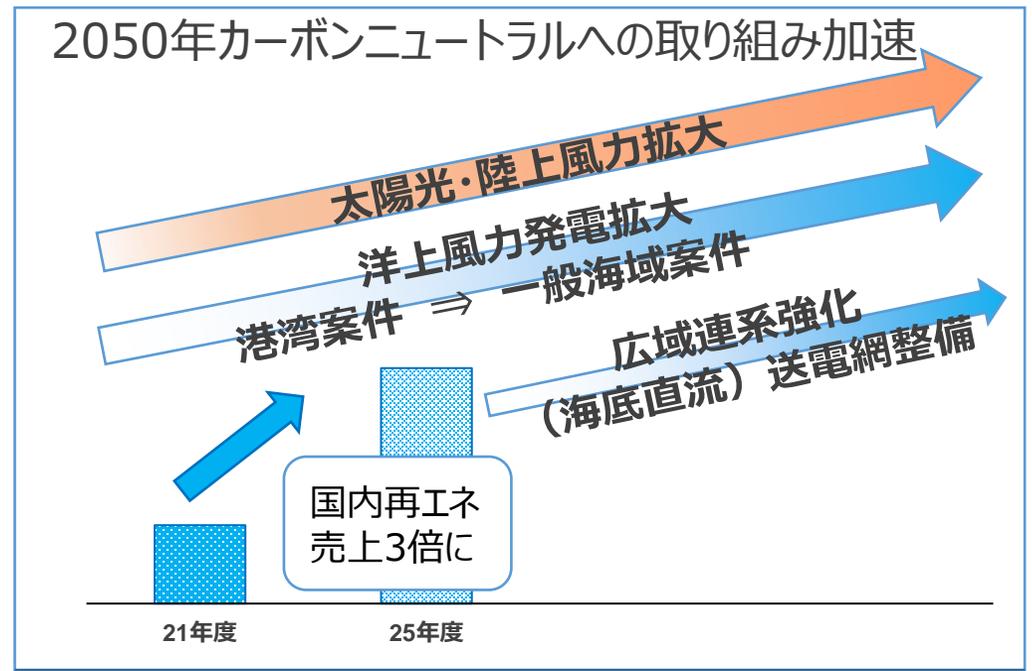
# 2-2. 六大施策① 利益重視の受注確保

## 25中計期間

- ・国内再エネ（海底線＋地中線）  
売上21年度比3倍へ
- ・国内超高圧地中線  
23年度に大型案件受注  
⇒24年度以降の安定収益確保へつなげる

## 次期中計を見据えた取組み

- ・洋上風力一般海域案件・広域連系計画  
でエンジニアリングサービスを提供  
⇒ コト売りで差別化し将来の受注に繋げる



売上高に占めるターゲットセグメント比率

# ターゲットセグメントの比率が順調に拡大中 (24年度は全体の7割に)

# 2-2. 六大施策② ケーブル製造能力の増強

## 設備投資（千葉工場）

8年間（18年度～25年度）で累計150億円規模  
 23年度中に海底線関連は概ね完了  
 再エネ海底線需要増を背景に海底線関連設備に積極投資  
 ・海底線用大型ターンテーブル(7000t)稼働開始



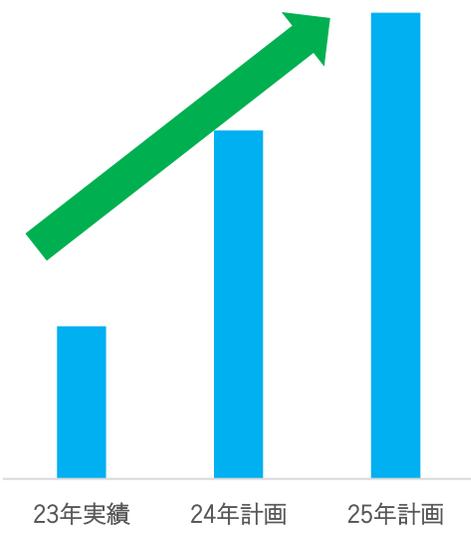
千葉工場ターンテーブル

## 生産性改善

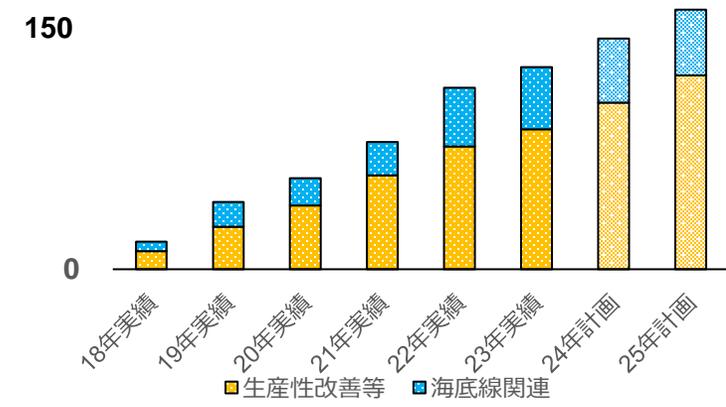
- ・接続部削減による長尺海底線製造能力増強
- ・設備の更新
- ・工程改善

**23年度までに2倍（17年度比）の増強達成**  
**海底線製造ラインをフル稼働中**  
 ⇒効果発現し売上増加につなげる

海底線売上



千葉工場  
 主要設備投資計画(累積額)  
 単位：億円



## 2-2. 六大施策③ 工事施工能力の増強

電力会社向け幹線更新需要増に対応 / 国内再エネ案件向け工事増加に対応

### 当社直営班の増強

- ・人員増強に向けた採用強化継続中
- ・現場管理者/ジョインターの待遇改善
- ・ケーブル接続技能の向上

### 協力会社との提携拡大

- ・提携協力会社数の拡大
- ・当社技術支援による稼働率向上

### 技術開発

- ・施工効率性の高い接続部品の導入
- ・工法改善

## エンジニアリング強化で効率化を進めていく

【労働基準法改正対応】

スマホ活用によるリアルタイム労働時間管理等 ⇒ 法令順守を徹底して能力増強継続



工事技能トレーニング



組立記録表の電子化  
(DXの一例)

## 2-2. 六大施策④ 技術開発の推進

### 将来有望な洋上風力および直流分野に注力

#### 次世代の浮体式洋上風力発電向け海底送電システムの開発

#### NEDO グリーンイノベーション基金(GI基金)の3テーマを実施

- ・洋上風力発電の大型化に対応する高電圧ダイナミックケーブルの開発 (予定通り進行中/24年度完了予定)
  - ・TLP※浮体式洋上風力発電向け送電システムの開発 (23年度完了)
- ※Tension Leg Platform:緊張係留方式により浮体の高い安定性とコンパクト化を実現)
- ・海底ケーブル布設専用船開発プロジェクト (23年度完了)



ダイナミックケーブル

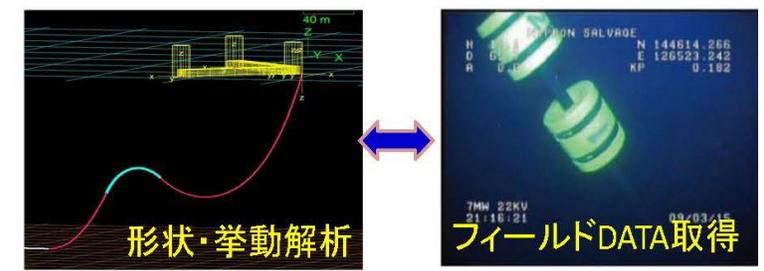
#### 長距離海底直流送電の実現に向けた開発

#### 2テーマがNEDO採択(23年6月)

- ・多用途多端子直流送電システムの基盤技術開発
- ・ケーブル防護管取付等の工法開発及び新型ケーブル布設船等の基盤技術開発

### 要素技術の開発フェーズは概ね完了

### ⇒実証段階フェーズへ進展



浮体式洋上風力発電向け  
海底送電システムの開発

## 再生可能エネルギー事業・直流事業

案件ごとの特性に合わせた線路設計・仕様・契約条件の検討でプロジェクトマネジメントノウハウを蓄積し新たなビジネスモデル構築

## コト売り事業推進

日本国内における洋上風力発電事業の拡大を見据えた海底ケーブル予備品及び補修台船のスタンバイサービスの事業開発に関し東京センチュリー(株)、(株)関海事工業所、当社で基本合意

**ケーブル事故時の早期復旧 ⇒安全安定供給の「つづく」をつくり、洋上風力発電事業の発展に貢献**

## DXの推進

【ものづくりDX】 製造設備データ等の活用と連携  
⇒生産性向上と品質管理の強化を目指す

【工事DX】 組立記録表のタブレット電子化等の工事DX推進

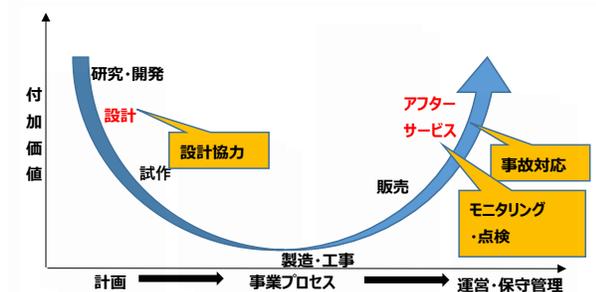
**次期中計期間での更なる事業拡大に向け、製造能力・工事施工能力向上に繋げる**



モニタリング・点検事業（ケーブル診断風景）



海底ケーブル予備品及び補修台船のスタンバイサービスのイメージ



# 2-3. ビジョン2030に向けて

## エネルギーを軸に存在感ある事業を確立する

「2050年カーボンニュートラル」に向けて、適用拡大する再生可能エネルギーを支える電力ケーブルシステム関連において国内随一の存在感を示す

### 国内再エネ海底線

- ・洋上風力一般海域案件が2030年まで（計10GW到達まで）1GW規模/年ずつ案件形成を促進

### 国内超高圧地中線

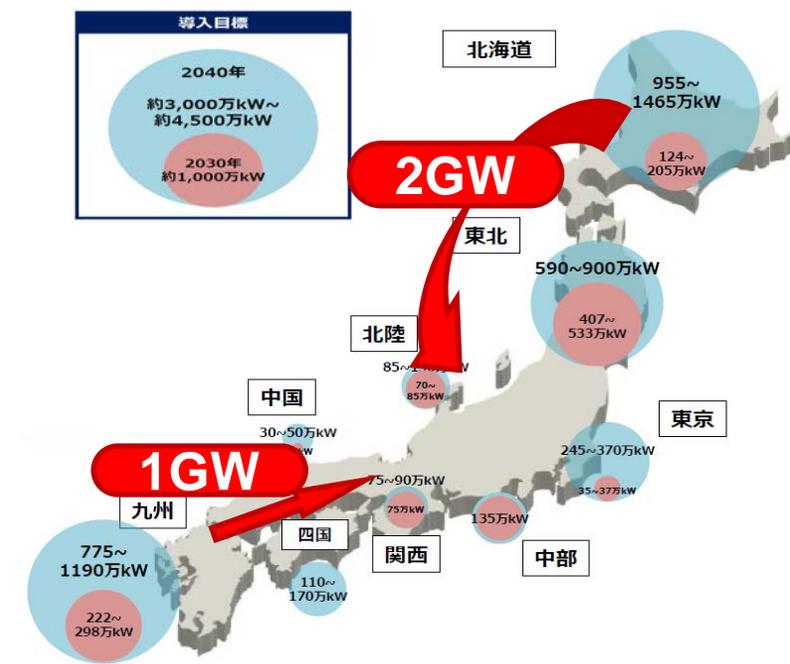
- ・OFリプレイス需要（電力会社向け）は30年まで堅調に推移
- ・再エネプロジェクト規模大型化に伴うケーブル高電圧化に対応

### 広域連系海底線(HVDC)

政府主導による北海道本州間（日本海ルート2GW,800km）および中国九州間（関門1GW,40～55km）の整備構想が進行中

- ・加速する再エネ需要拡大に積極的に対応
- ・次世代浮体式洋上風力・直流送電システム向け技術開発を完遂
- ・更なる能力増強計画(製造ラインの新設)を具体化

### 広域系統長期方針



出典：「洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会」第2回（2020年12月15日）資料 ※一部加筆

## 海底ケーブルの供給・布設によりカーボンニュートラル実現に貢献

### 石狩湾新港洋上風力発電事業へ海底ケーブルシステム納入

当事業は、開発段階において(株)グリーンパワーインベストメントが単機出力 8 MWの大型風車を日本で初めて採用した国内最大級の商用洋上風力発電所です。石狩湾新港から約1,600m沖合、約500haの海域に8MWの風車14基が建設され、総出力112MWになります。当社は、洋上部工事元請の清水建設(株)より、風車間の接続および風車から陸上へ送電する総延長約16kmにおよぶ海底ケーブルシステムの設計・製造・布設を一括で請け負いました。



石狩湾新港洋上風力事業 布設現場全景  
(写真提供：株式会社グリーンパワーインベストメント)



石狩湾新港洋上風力事業 布設現場の様子

### 入善洋上風力発電所向け海底ケーブル納入

当プロジェクトは入善マリンウインド(株) (出資者：(株)ウェンティ・ジャパン、JFEエンジニアリング(株)、北陸電力(株)) による日本初の民間資金による一般海域洋上風力発電事業で、その発電量は最大出力7,495kWで一般家庭3,600世帯分の電力使用量に相当し、風力発電や太陽光発電といった再生可能エネルギーの主電源化に貢献するものです。当社は、建設工事を請け負う清水建設(株)から海底ケーブルを受注し納入しました。

# 産業電線・機器事業

産業電線・機器事業部門長 徳田 繁

# 3-1. ビジョン2030達成に向けた取組み

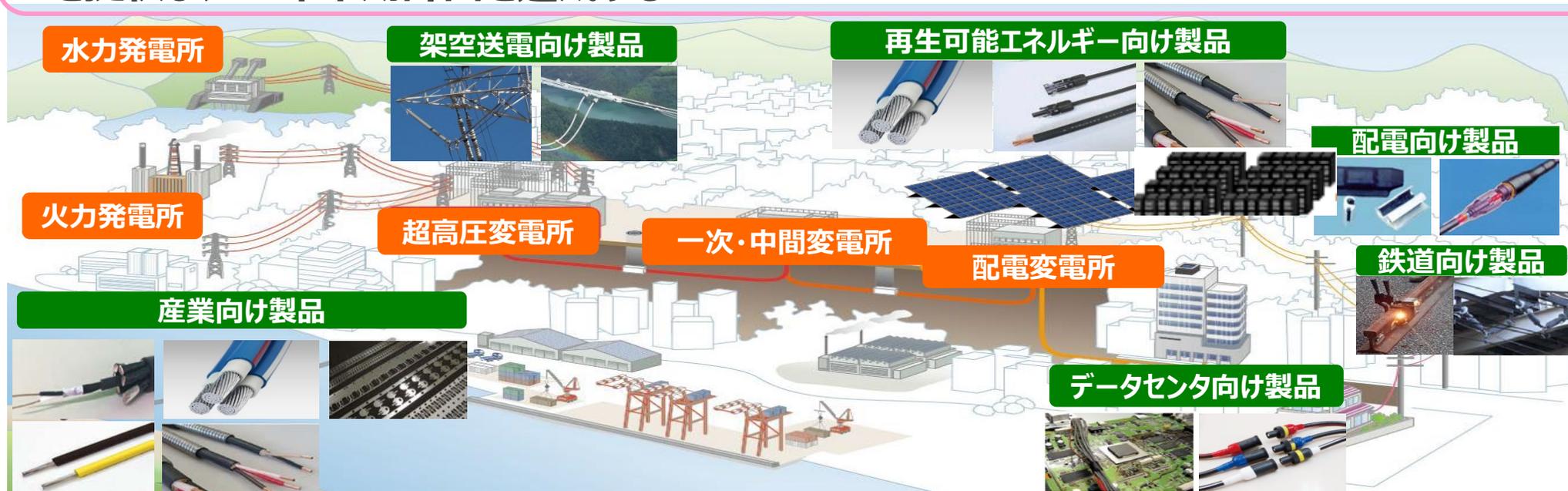
30年の  
ありたい姿

## エネルギーを軸に存在感ある事業を確立する

再生可能エネルギーを含む送配電システムの高度化、強靱化推進、および防災・減災、情報（5G）、モビリティなどのインフラ領域における新技術、新製品開発を通じて、「安全・安心・快適な生活」の実現に貢献する

現在

産業電線・機器事業部門の多岐にわたる市場・豊富な製品ラインナップの強みを活かし、電力・鉄道分野・データセンタを始めとした次世代インフラ等の社会課題に高付加価値製品を提供し、25年中期計画を達成する



# 3-2-1. ターゲットセグメントの市場概況・戦略製品

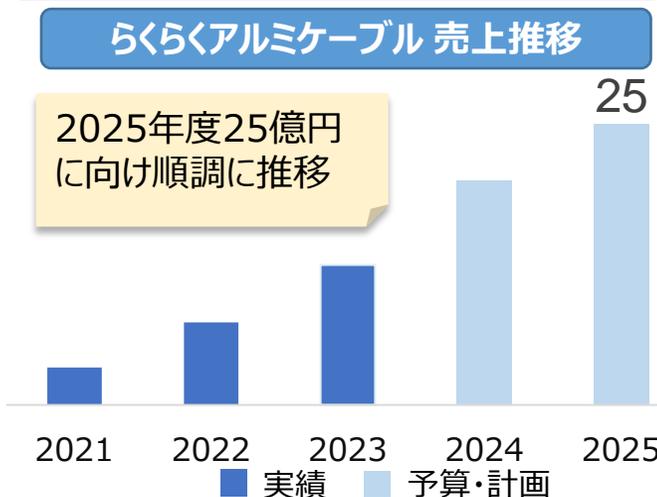
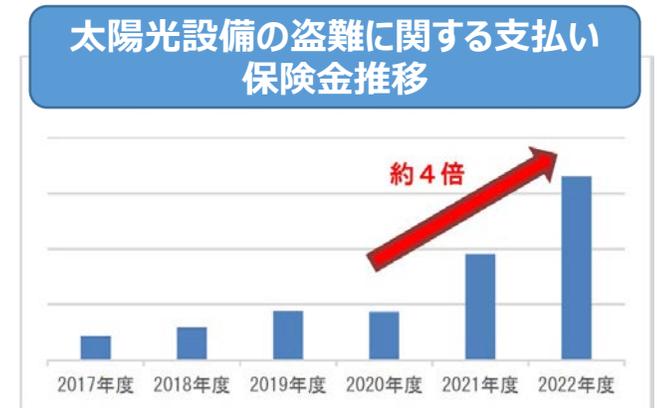
ターゲットセグメント	国内再エネ	次世代インフラ	防災減災	社会インフラ
三大施策	電力・鉄道分野拡販	戦略製品	次世代高機能製品	

## 【市場概況】

電源構成に占める再生可能エネルギー比率拡大 太陽光・風力発電の目標は、20年度8.8%から30年度には20%の見通し  
 太陽光発電設備を中心とした銅電線盗難が社会問題に

## 【戦略製品】

**らくらくアルミケーブル** 古河電工産業電線 (FEIC)  
 太陽光発電設備を始めとした再エネ市場において、  
**施工性・盗難抑止効果**で売上拡大



## 優れた施工性に加え、ケーブル盗難対策効果で社会問題に貢献

銅導体のケーブルとの明確な識別性でケーブル盗難を抑止  
 昨今、急増する太陽光発電設備を中心とした銅導体ケーブルの盗難被害を未然に防止

- 銅導体のケーブルの黒色シースに対し、青色シースを採用することで識別が容易
- らくらくアルミケーブル採用の太陽光発電設備に4か国語表記の注意喚起ポスターを提供

### 損害保険ジャパン株式会社による新サービス開始

太陽光発電設備の銅導体ケーブルの盗難被害に遭われたお客様にらくらくアルミケーブルをご紹介します、早期の復旧と再発防止に貢献



SWGC-FURUKAWA

この施設で使われているケーブルの導体は

防犯システム  
作動中  
Security System in operation

**アルミ**です。

**ALUMINUM CONDUCTOR CABLE is laid in this site.**  
 该设施安装了铝导体电缆。  
 Cáp được sử dụng trong cơ sở này có dẫn điện bằng nhôm.

**The conductor of Blue jacket cable is made of Aluminum!**

【アルミ導体ケーブル】  
らくらくアルミケーブル®>

【銅導体ケーブル】  
Copper conductor cable

NO MORE 盗難!!

連絡先:

All Rights Reserved, Copyright© FURUKAWA ELECTRIC CO., LTD. 2024

転載、複製、改変等禁止

## 3-2-2. ターゲットセグメントの市場概況・戦略製品

ターゲットセグメント	国内再エネ	<b>次世代インフラ</b>	防災減災	社会インフラ
三大施策	電力・鉄道分野拡販	<b>戦略製品</b>	次世代高機能製品	

### 【市場概況】

ハイパースケーラー等のデータセンタ建設の急増  
DXの推進やIoT、5Gサービスの普及、トラヒック量の急増等に  
対応した迅速かつ計画的な整備が進む

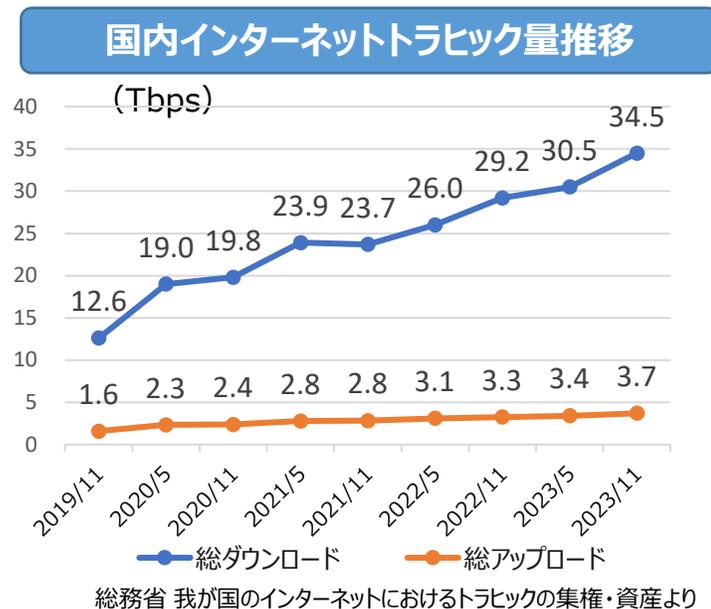
### 【戦略製品】 古河電工パワーシステムズ（FEPS）

#### プラグインコネクタ

誤挿入防止機能により、「あんぜん」「じんそく」「スキルレス」で  
データセンタを中心に幅広い分野で売上拡大中

#### ドライキーパー（結露防止シート）

「高い吸湿性能」「多様なラインナップ」で電子機器類の実装  
密度の向上、障害の防止、メンテナンスフリーに貢献



#### プラグインコネクタ

#### ドライキーパー



## プラグインコネクタ、データセンタを中心に売上拡大中

古河電工パワーシステムズ（FEPS）のプラグインコネクタと古河電工産業電線（FEIC）のケーブルとの組合せによりデータセンタ建設ラッシュに貢献

- ワンタッチ接続方式、コネクタ勘合部のキー溝構造による誤挿入防止で、安全・迅速・スキルレスなケーブル接続を実現
- FEICのFCCケーブルは高難燃性・柔軟性を備え、データセンタに要求される複雑な配線や高難燃に応える
- プラグインコネクタ+ケーブルは、非常用電源装置に採用され、防災減災分野でも貢献、さらに適用範囲を拡大



# 3-2-3. ターゲットセグメントの市場概況・戦略製品

ターゲットセグメント	国内再エネ	次世代インフラ	<b>防災減災</b>	<b>社会インフラ</b>
三大施策	<b>電力・鉄道分野拡販</b>	<b>戦略製品</b>	次世代高機能製品	

## 【市場概況】

気候変動による頻発・激甚化する自然災害等への対策の加速化  
 電力レジリエンスの強化や地域間相互連系の本格化

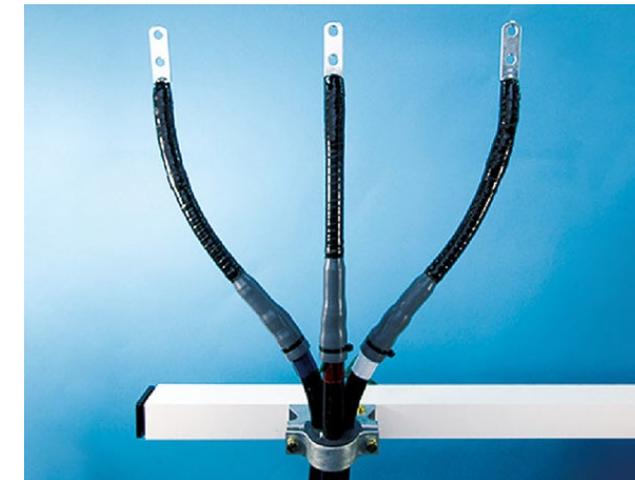
## 【戦略製品】

**アイヒットニューTS6** 古河電工パワーシステムズ (FEPS)

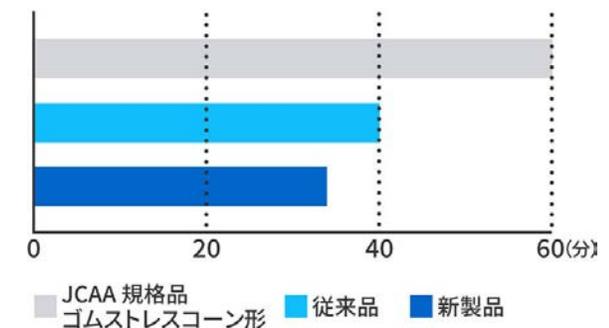
6600V CVT ケーブル用差込式屋内終端接続部

作業効率を追求し、「完全グリースレス」「接地線半田レス」を実現  
 コンパクトかつ容易なケーブル挿入で、従来品より組立作業時間を  
 15%削減、作業不足や災害時の早期復旧に貢献

アイヒットニューTS6



施工時間



※ 時間は当社基準による。ケーブル段剥ぎ後～完成まで(3相)

# 3-3. 次世代高機能製品へのシフト

ターゲットセグメント

国内再エネ

次世代インフラ

防災減災

社会インフラ

三大施策

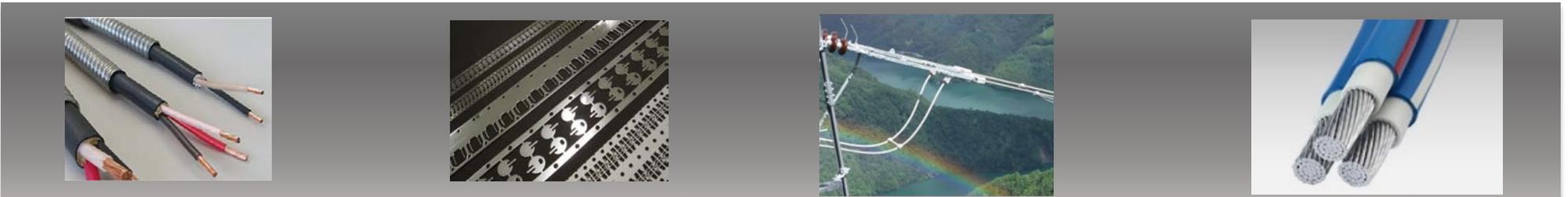
電力・鉄道分野拡販

戦略製品

次世代高機能製品

**当社固有のポリマー・メタル・加工技術を活用した製品開発**  
**これらの技術の深堀を行うとともに、活用・複合化により新製品を創出**

メタル



ポリマー



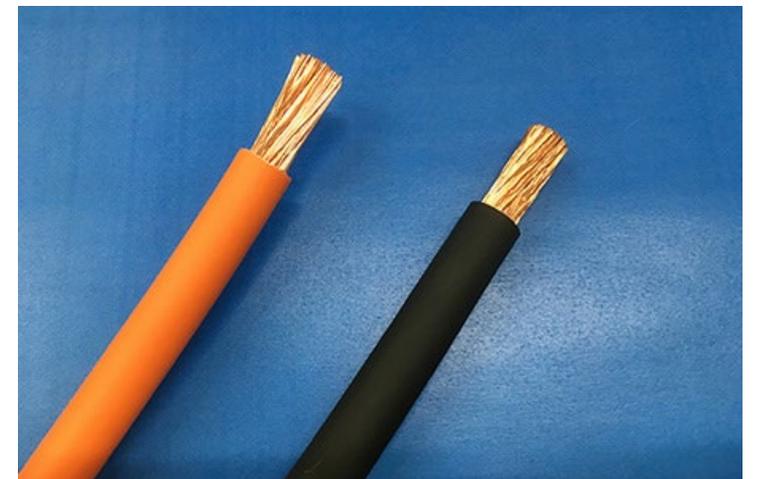
共創



## 耐熱性樹脂組成物の製造方法、並びに、耐熱性樹脂組成物及び成形品

（特許第6219268号）

- ・公益社団法人発明協会が主催する全国発明表彰において「発明賞」受賞
- ・本発明は、フィラーを高い自由度で配合できる新しい架橋方法と樹脂組成物に関する知的財産
- ・被覆材等に用いることで、耐熱性、強度、柔軟性、対外傷性や加工性など多くの機能を複合的に付加できる
- ・現在は、特徴ある機能線被覆材として本発明の樹脂組成物を使用中。さらに今後、再生可能エネルギー分野など各種製品に適用範囲を拡大させる



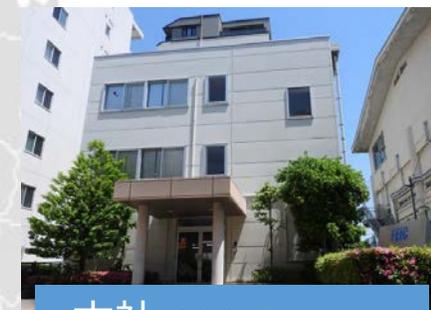
## 古河電工産業電線 全拠点で再生エネルギー由来の電力導入予定 カーボンニュートラル実現に向け、バリューチェーン全体でのCO<sub>2</sub>削減

- ・九州工場、平塚工場及び本社の全拠点にて  
実質的再生可能エネルギー由来電力を導入予定
- ・全拠点の電力使用にともなうCO<sub>2</sub>排出量  
（スコープ2）がゼロに
- ・環境に配慮したものづくりを通し、バリューチェーン  
CO<sub>2</sub> 排出量削減に貢献

**古河電工産業電線を初め、全ての関係会社  
（古河電工パワーシステムズ・KANZACC）  
で再生可能エネルギー由来の電力導入を推進**



九州工場（福岡県北九州市）



本社（東京都荒川区）



平塚工場（神奈川県平塚市）

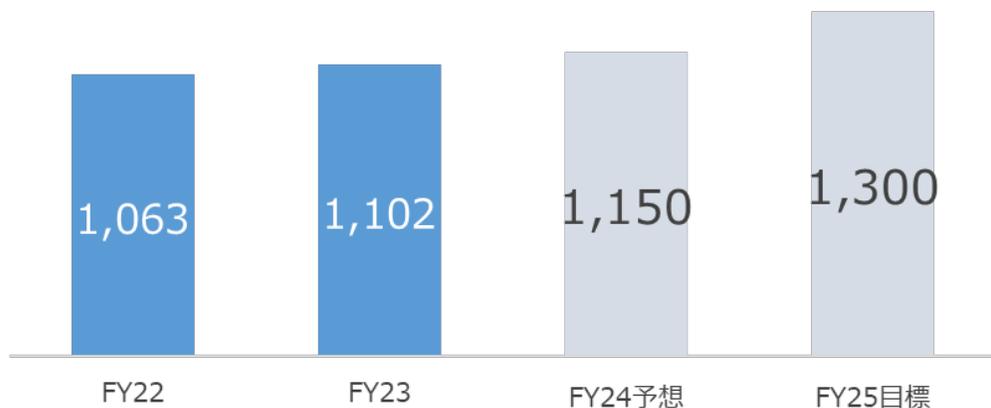
ご清聴ありがとうございました。

The slogan "Bound to Innovate" in a bold, italicized, black serif font. A red graphic element, resembling a stylized lightning bolt or a swoosh, is positioned behind the text, starting under "Bound" and extending upwards and to the right behind "Innovate".

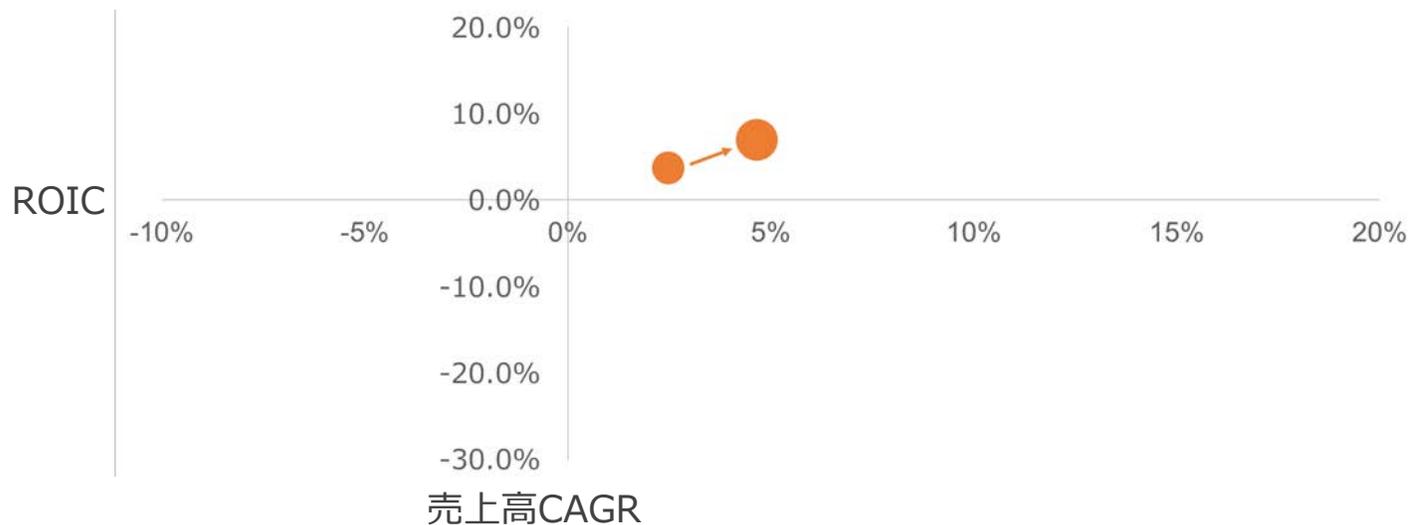
# 25中計 売上高・営業利益推移

## 売上高

(億円)

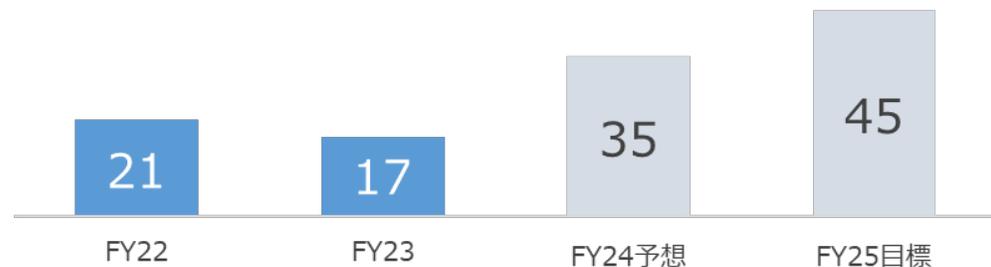


## ROIC (23年度実績 → 25年度目標)



## 営業利益

(億円)



縦軸 : 売上高CAGR (22~23年度→22~25年度)  
 横軸 : ROIC (23年度→25年度)  
 バブル : NOPAT (23年度→25年度)

※ 売上高CAGRで使用している25年度の売上高は24年度予想の為替平均に補正  
 ※ CAGR : 年平均成長率、ROIC : 投下資本利益率 (税引後)  
 NOPAT : IFRSに準じ、当期純利益 + 税引後支払利息で算出



## 【25中計（Road To Vision2030 -変革と挑戦-）基本方針】 安全・安心・快適な社会インフラの構築に固有技術・製品で貢献し事業拡大

- ①安全：2050年カーボンニュートラル
- ②安心：防災・減災（災害に強いまちづくり）
- ③快適：少子高齢化対応・次世代インフラの構築（住みよいまちづくり）

### 【事業環境・強みと課題】

事業環境 主な収益機会	統括部門としての強み
<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生可能エネルギー案件を中心とした需要の急拡大</li> <li>●人手不足による施工が簡単な製品に対する需要の拡大</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国内外における超高圧地中線、海底線の豊富な実績</li> <li>●海底線を中心とした技術開発</li> <li>●「ポリマー」「メタル」の材料技術を基にした高付加価値製品</li> </ul>
事業環境 主なリスク・脅威	統括部門としての課題
<ul style="list-style-type: none"> <li>●事業拡大に必要な人材確保の遅れ</li> <li>●顧客側での大型プロジェクト案件実施時期の変更</li> <li>●原材料等の価格高騰</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●再生可能エネルギー案件の着実な受注、製造能力確保</li> <li>●中低圧電線事業の収益向上</li> <li>●直流（広域連系海底線）事業展開へ向けた計画具体化</li> </ul>

### 【25中計達成に向けた主な事業戦略】

ターゲットセグメントへの成長戦略投資で  
事業拡大と資本効率経営を両立

[電力事業 ターゲットセグメント]  
国内超高圧地中線  
国内再生可能エネルギー（海底線＋地中線）  
海外海底線（アジア）

[産業電線・機器事業 ターゲットセグメント]  
社会インフラ  
国内再生可能エネルギー  
防災・減災  
次世代インフラ



	電力		産業電線・機器	
社会インフラ	●		●	●
再エネ	●	●	●	●
防災・減災		● (送水管)		●
次世代インフラ			●	●
主な製品	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 超高圧/高圧地中線 (ケーブル・部品・布設工事)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海底線 (ケーブル・部品・布設工事)</li> <li>● 送水管 (布設工事含む)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業用電線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 架空送電部品</li> <li>● 配電部品</li> <li>● その他機能製品等</li> </ul>
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電力基幹網整備</li> <li>● 大型プラント</li> <li>● 再エネ (陸上風力、太陽光、洋上風力自営線)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 洋上風力海底線</li> <li>● 離島向け送水管</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 太陽光発電システム</li> <li>● 工場/ビル等屋内配線</li> <li>● 工場設備/機器の配電盤/制御盤等の配線</li> <li>● 移動機械の配線</li> <li>● 船内電気設備の配線</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 送配電線路用電設資材</li> <li>● ケーブル直線・分岐接続</li> <li>● 接続部の絶縁・保護</li> <li>● 産業機器・情報機器の放熱</li> <li>● 自動車車体や鉄道線路等の溶接</li> </ul>
主な顧客	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電力(送電)会社</li> <li>● 再エネ発電SPC・EPC</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 再エネ発電SPC・EPC</li> <li>● 地方自治体</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 建設業者</li> <li>● 鉄道会社</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 電機メーカー</li> <li>● 造船会社</li> <li>● 電力会社</li> <li>● 建設業者</li> <li>● 鉄道会社</li> </ul>